

若者の雇用・自立支援を

公明党横浜市会議員団

にった
仁田まさとし

昨年から続く、景気の低迷は、雇用情勢の悪化を招いています。

私は21年度の予算代表質問の中で、若年者などの就業状況が厳しいという現状に言及しました。そして、ニート状態の若者の職業的な自立を支援する横浜駅西口の「よこはま若者サポートステーション」の増設と就業相談の拡充を求めました。これに対し、中田市長は

「国の『ふるさと雇用再生特別交付金』でキャリアアカウンセラーなどを雇用し、

就業相談の拡充を図り、国が進める地域若者サポートステーションの増設も働きかけたい」と答弁しました。また、NPOや企業との連携、若者の自立支援にかかわる市民ボランティアの育成を提案しました。市長は「体制を構築していく」と前向きに答弁しました。

障がい者雇用拡大へ

先日、多くの障がい者を雇用する日本理化学工業株式会社の川崎工場を訪問しました。同工場では47人の従業員のうち33人が知的障がい者です。同社の大山泰弘会長から、障がい者雇用への理念と具体的な努力を伺い、障がい者雇用拡大への決意を新たにしました。



仁田まさとし プロフィール

- 横浜市会水道・交通常任委員会委員
 - 同青少年・市民スポーツ特別委員会委員
 - 公明党横浜市会議員団団長
- ◇施政方針は「大胆に挑戦、誠実に実現」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>



大山会長 左から3人目 に話を聞く